

| | | | |
|---|--|--|--------------------------------|
| 科 目 名 | 工業英語II | 科 目 の 種 別 | 教養科目 |
| 担 当 教 員 名 | 高橋 真紀子 | 所 属 (コ ー ス) | 工業技術科(機械・電気コース) |
| 開講学期/単位数 | 1年後期/2単位 | 科目の 分 類 | 講義・演習 標準授業 時 間 数 30時間 |
| 科 目 の 目 標 | | 授 業 計 画 | |
| <p>高校までに習得した文法や表現をベースとして、日常会話の応用表現やビジネス用語、工業関係の専門用語を習得し、自分の考えを英語で発信できる能力育成を目指す。</p> | | <p>第1週 Chapter3 unit1 / No.261~280 第2週 Chapter3 unit2 / No.281~300 第3週 Chapter3 unit3 / No.301~320 第4週 Chapter3 unit4 / No.321~340 第5週 Chapter3 unit5 / No.341~360 第6週 Chapter3 unit6 / No.361~380 第7週 Chapter3 unit7 / No.381~400 第8週 Performance Test ③ / No.401~420 第9週 Chapter4 unit1 / No.421~440 第10週 Chapter4 unit2 / No.441~460 第11週 Chapter4 unit3 / No.461~480 第12週 Chapter4 unit4 / No.481~500 第13週 Preparation for Performance Test ④ 第14週 Performance Test ④ 第15週 後期末試験</p> | |
| 授 業 の 概 要 | | | |
| <p>教科書を用いた講義やペアワークを基本とし、パフォーマンステストや技術英検対策も随時行う。</p> | | | |
| 教科書、教材等 | 工業英語 English for Engineers (実教出版) 技術英語ハンドブック (日本能率協会マネジメントセンター) | | |
| 評 価 基 準 | 関心・意欲 ・態度 (25%) | 英語を用いて積極的なコミュニケーションを図ろうとする意欲がある。 日常的な話題について英語で伝えようとする。 相手の話を理解した上で自分の意見を述べ、コミュニケーションを深めることができる。 | |
| | 思考・判断 ・表現 (25%) | 場面や状況に応じて、適切な表現を用いることができる。 学んだことや経験したことをもとに、情報や自分の考えを書いたり話したりして伝えることができる。 情報や考えを正確に把握し、適切に英語で伝えることができる。 | |
| | 技 能 (25%) | 正確な発音やリズムで英語を読んだり話したりすることができる。 要点やつなかりに注意してまとまった量の英文を読み取ることができる。 与えられた話題についてその場で考え、英語で簡潔に話すことができる。 適切な表現を用いて情報や考えを英語で文章を書いて伝えることができる。 | |
| | 知識・理解 (25%) | 海外情勢や異文化について正しい知識を得て、理解を深めている。 様々なメディアで用いられる英語を理解し、必要な情報を選択しながら、活用することができる。 ビジネスや工業関係で用いられる英語を理解し、活用することができる。 | |